

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第95号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

シフト21 視察研修旅行 ” ローカル線「いすみ鉄道」“に思う

芝 忠

先日、シフト21グループの研修旅行で千葉県の第3セクター「いすみ鉄道」の見学にいきました。

鳥塚亭社長が、子供のころから鉄道マニアで、特急の運転士になりたかったが、大卒当時、国鉄改革のあおりを受けて就職出来ず、外資系の航空会社に就職、周り回って赤字会社の鉄道会社の社長になった。新たに運転士を全国から募集したところ自分と同じように当時国鉄に就職できなかった年代の人たちが多数応募してきたという。

あえて現職をやめて自分の夢を追うということは、最近ヒットした映画RAILWAYSとそっくりです。大手企業のリストラを断行したエリート幹部が島根県のローカル線の一畑鉄道(モデル)の運転士になるという物語です。高校野球で挫折した若い人や地域住民との触れ合いなど、いわゆる「勝ち組」でない人生の生き方を描き、何回も泣かされました。

続いて見た映画で「きなこ」という落ちこぼれの警察犬の物語も、順調な生き方だけが、唯一でないことを描いて泣かされます。鳥塚社長は、**都会人は壁にぶつかっておりローカル線はそのオアシス、心の栄養剤**になる、とっています。どうやら、日本の社会構造も少しずつ変化しており、競争社会一辺倒ではなくなりつつあるのかもしれない。

研修旅行で、もう一つ、日蓮の生まれたところを記念して建てられた誕生寺(大本山5寺の一つ)の朝の法話の中で、寺の広報部長さん(僧侶)が、ある中小企業者の相談を取り上げ、課題解決策はいろんな人の意見を聞き、懇談したことがきっかけとなった、と紹介し、まるで「異業種交流」が重要だとも取れるようなことをいわれたのにはびっくりしました。

現代社会は真の会話が不足というのでしょうか。

シフト21 視察研修旅行 “日蓮誕生寺の朝の法話”におどろく

小野川利昌

芝専務が触れておられる寺の広報部長さん(僧侶)の法話の中で「日本人は古来より森羅万象に神の存在を信じ、のちに仏法も受け入れるという受容性の高い多神教の国民性である。戦争や国同士の争い事を鎮めるために、これを世界に広める必要がある・・・云々」とお話しされた。

立正安国論で他宗に焼き打ちを受けたり、他宗派との公場対決を迫るなど激しい布教を繰り広げた日蓮の大本山で他を受容すべきという説を聞いたことは驚きであった。

世界3大宗教のキリスト教やイスラム教は唯一絶対神をと見え、他宗教は邪教として排斥し、殺戮も辞さないという血塗られた歴史を今も引きずっている。一方、釈迦は形あるものはすべて変転し一つにとどまることは無い(=完璧で未来永劫変わることは無い“神”は存在しない?)とし、あるがままのすべてを受容する(死さえも)ことで、神を信仰しなくても安らぎを得られるとしたらしい。

現代に伝わる仏教は釈迦の教えを大きく外れたものと言われているが、誕生寺の和尚さんの話に綿々と受け継がれてきた仏法の原点があるのかなと、さらに興味を持って勉強してみたいと思った。

産学官交流サロンのコーナー

第05回海老名サロンの開催案内

愛 賢司

日 時：H22年10月07日(木) 15:00~18:00 (14:30開場)

場 所：神奈川県産業技術センター2階 カンファレンスルーム 懇親会：2,000円

- 1、中小企業の東南アジア進出の事例と教訓・・・元(株)山王フィリピン支社長 星野 正男氏
- 2、わが社の得意技術と今後の課題・・・大島機工(株)代表取締役社長 山口 伸治氏
- 3、わが社の強みとこれからの課題・・・(株)エヌ・ブラッサム代表取締役社長 岡田 憲夫氏
- 4、私が経験したITバブルの悲惨な結末・・・クラウドリンク(株)代表取締役社長 相馬 純平氏
- 5、中小企業にとって経営理念は必要か・・・ニイガタ(株)代表取締役社長 渡部 学氏

申 込：工業技術研修センター事務局・愛 賢司 046-235-5610

第33回 “かわさき経済人ネットワーク”

日時：H22年10月08日（金）18：00～20：30
 場所：川崎市産業振興会館 10階第2会議室
 テーマ：「**加圧式凍結精密鑄造法の開発と補助金獲得の成功の秘訣**」(株)ジェイ・エム・シー 上杉北斗氏
 会費：1000円（ビールおつまみ付）
 問合せ：神奈川異グ連事務局 松井、芝 045-633-5142
 Email：toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

おなじみ尾上町サロン（ぶらり参加大歓迎！！）

日時：原則第一・三金曜日（10月01日、15日、11月05日）17：15～19：30
 場所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所
 話題：**自由に持ちより（テーマの事前予約OK）**
 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142
 参加費：1000円（現物も大歓迎）

第29回「西湘サロン」開催案内

吉池正樹

日時：H22年11月08日（月）18：00～20：00（開場17時30分）
 場所：小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 会費：1000円（ビール、おつまみ付）
 栄町1丁目交差点より徒歩1分、「神仏具ストウ商店」と「あげたてっこ」の間です。
 話題提供：「**わが社の経営戦略～2度の経営革新計画の承認を得て**」
 (株)伊豆リネンサプライ、東京伊勢タオル販売株式会社 代表取締役社長 小野孝之氏
 申込問合せ：異グ連事務局・島津俊之、吉池正樹、芝 忠 045-633-5142

第28回（9月13日）西湘サロンの報告

吉池正樹

今回は平塚市を中心に活躍されている次のお二人の方に話題提供をしていただきました。この話題を中心に、参加メンバー間に新たな繋がりが生まれ盛況でした。

話題1：「**共感と調和**」— “**コンセプト開発**”に関する共感を得る商品企画の一提案—

平塚市生き甲斐事業団 IT同好会 森 謙一氏

題名は少し硬い題名ですが、市場のニーズに応じて製品を開発しても、大衆に受け入れられないのはなぜか、携帯電話やディズニールンドの様に人気を得られないのはなぜか、それは皆の共感が得られないからだそうです。共感とは生活環境から生まれてくるもので、共感のキーワードは「美しさ・美」「面白さ・知」「楽しさ・遊」「おいしさ・食」「健やかさ・健」「爽やかさ・快」「便利さ・便」「安らかさ・休」等だそうです。

話題2：「**お葬式とは・・・**」— 想いをかたちにして—

つばさ企画 葬祭プランナー 窪田 薫氏

「死んでも人に迷惑をかけない」とは少し大袈裟ですが、最近、生前に自分の死後のことまで準備をしておこうという人が増えています。「つばさ企画」はそんな方が「自分らしい終末」を過ごせるよう支援をしています。具体的には「遺言ノート作成のお手伝い」「納骨・お墓参りの代行」「死後代行手続き代行」「葬儀参列代行」等々です。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**シフト21** 【<http://www.shift21.jp/>】

有村知里

9月5日（日）～6日（月）に千葉への視察研修会を行い、ゲストを含めて16名の参加がございました。主な企業視察先は2箇所。一箇所目は、公募で就任した鳥塚社長が、「何もない」ということを逆にとり、様々なアイデアで活性化をはかる「**いすみ鉄道**」。もう一箇所は枇杷という特産品に特化して観光客を集め、そこから地域へと観光客を送り出し、活性化の機能を発揮している「**道の駅とみうら枇杷倶楽部**」。どちらのお話からも「経営資源を活かすとは何か」を考えさせられました。また小湊・誕生寺の早朝法話にも学ぶことも多く、異業種交流の価値を再認識いたしました。

10月定例会はファイナンシャルプランナーの薦田様から、「**年金・医療・介護のお話～これだけは知っておきたい社会保障制度（仮）**」というテーマでお話をお伺いいたします。（10月12日（火）18時30分～かながわ県民センター）

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎。お問合せは有村まで。
arimura-c@nifty.com

第110回日韓ビジネス協議会（工場見学）報告

高橋導徳

見学先：北星鉛筆(株)・鉛筆は東京の下町で作られる地場産業である。

設立1951年1月、資本金4000万円、従業員28人

キーワード：文房具、学童鉛筆、エコロジー商品、リサイクル、環境

鉛筆をかたどった外観の工場や鉛筆資料館がユニークであり、資料館には鉛筆の歴史や様々なアイデア商品が並び、近隣の学童の見学が絶えないとのことであった。おがくずを利用した粘土細工がユニークである。

第111回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳

日時：2010年09月29日(水) 15:00～17:15 懇親会 17:15～18:15

場所：神奈川中小企業センタービル 5階会議室

内容：1、「NPOものづくり応援隊 in 大田区」 クレデ経営コンサルタント事務所 園部和弘氏

2、韓国企業紹介 (株)ヴヴォン生活家電 次長 林 晃鐘氏

3、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）について」 (有)精美堂 代表取締役社長 野口 修氏

4、講演：**不況下に頑張る中小企業** 神奈川異グ連理事 瀧澤 清氏

申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp 携帯 080-3171-4069

まんてんプロジェクト

千田泰弘

- 海外航空機メーカーからの訪問や打ち合わせなどお盆返上であった。
- まんてんプロジェクト会員の進める水上飛行機開発プロジェクトが、マレーシアとの共同開発が決定したことを受け、東京都は、本プロジェクトをアジア各国のの首都で作る、アジア大都市ネットワーク21のプロジェクトとすることを決定し、日本とマレーシアの国際的な産学連携プロジェクトとして、11月の総会にて提案することとなった。
- 8月25日、東大が主催する、社会人向け「航空産業セミナー」において、「中小企業の航空機関連産業参入の事例と課題」というテーマでJASPAから発表を行った。
- 8月26日、新潟市においてファンボロウエアショウ出展報告会があり、JASPAからも報告を行なった。

お知らせ**平成22年度 神奈川県ものづくり技術交流会（10/13～15）**

神奈川県産業技術センターでの慣例のものづくり技従交流会に神奈川異グ連は今年も参加します。

開催日：異グ連の発表はH22年10月13日(水) 13:00～17:00 懇親会は17:15～19:00です。

場所：神奈川県産業技術センター 参加・聴講：無料（懇親会は2,000円）

発表内容：**異業種交流事例や新環境フォーラム、など10件のテーマについて発表します。**

問合せ：神奈川異グ連 045-633-5142 内容の詳細は8月号（第94号）に載せています。

県西産業フェア2011 出展企業募集

日時：H23年2月25日(金)～26日(土)

場所：神奈川県足柄上合同庁舎

募集数：35社程度

出展料：1.8x0.9x0.7m 10,000円

1.8x0.45x0.7m 6,000円

別会場にて1社20分のプレゼンテーション可能。

申込み：足柄上地域県政総合センター商工課

電話 0465-83-4591 小瀬村、中島

アジア起業家村グローバルビジネスセミナー

日時：H22年10月02日(土) 14:00～18:45

場所：THINK 大会議室

川崎市川崎区南渡田1-1THINKビル8階

参加料：3,000円（交流会費を含む）

第一部：パラダイムを破る先駆者からの提言

第二部：総括討論 第三部：交流会

申込み：NPO アジア起業家村推進機構事務局

電話 044-542-5811

IDEC・自由経済都市香港を経由するアジア展開セミナー

日時：H22年10月13日(水) 14:00～17:00

会場：(財)横浜経営支援財団 大会議室

内容：1、香港を取り巻く最新情報

2、中国ビジネスのための香港

3、企業の香港活用事例

4、インベスト香港が支援した日系企業の紹介

問合せ：(財)横浜経営支援財団 国際ビジネス支援部

電話 045-225-3730 榎野、富永

IDEC・第3回インドビジネス懇談会

日時：H22年10月21日(木) 15:00～17:00

会場：(財)横浜経営支援財団 大会議室

内容：1、申込時に話し合いたいテーマを申請

2、参加者へ事前にテーマのすべてを連絡

3、ナビゲーターのもとでテーマについて懇談

ナビゲーター：IDECグローバルビジネスアジア山下 貞良氏

問合せ：(財)横浜経営支援財団 国際ビジネス支援部

電話 045-225-3730 榎野、富永

投稿

63年目の甲子園（西宮球場）の土

C&S 村上嘉男

夏の高校野球も終わりほっとしたところですが、春・夏の高校野球の風物詩として試合が終わったチームが甲子園の土を持ち帰ることが慣例となっている。

63年前(1947年)自分が旧制中学3年生の教科書に前年夏の甲子園に出場した選手の作文が記載されていた。その内容は自分の机の隅に置いてある瓶に入った甲子園の土をみると甲子園で頑張った事が思い出され、勉学の励みになるという内容だったと思う。

この選手の出場した大会は1946年敗戦の翌年で、甲子園は駐留軍(当時は連合軍の占領下)に接収されたため西宮球場で行われた。この大会では大阪の平古場投手を擁する浪華商業が優勝し、翌年から甲子園で行うようになった。その後甲子園の土を持ち帰るのはこの教科書が原因ではないかとひそかに思っていた。

今年の8月16日、夏の大会をテレビで見ていたところ、スタンドでアナウンサーが夏の大会に出場した選手のOBと対談していた。この選手は当時の東京高等師範附属中学(現筑波大学附属高校)4年の竹田晃選手で1946年夏の大会において、準決勝で浪華商業に敗れたが、アナウンサーが上記の教科書の作文の作者であることを紹介していた。

戦時中、野球は敵国のスポーツのため禁止状態であったが、東京高等師範附属中学では先生が理解を示し野球の練習を認めており、夏の大会出場につながったようである。

放送終了後インターネットで竹田氏の経歴を調べたところによると1949年新制度第1回の大学入試で東大に入学され、野球部のキャプテンをし、その後大学に残り監督を務められ、中国文学の教授を経て退任し、現在は名誉教授だそうである。

その紹介文の中に、4年生時には二塁手として夏の甲子園に出場。出場選手が甲子園の土を持ち帰る風習の起こりに関わったうちの一人となったと書かれていた。当時は教科書の作者が誰であるかということには関心がなく、ただ頭の片隅にこの文章が記憶されていたが、たまたま作者を知ることになり、当時の記憶がよみがえり、解かなくてもよい方程式が突然解けたような感じである。

異グ連活動も付加価値を見つけ出す場

C&S会長 魚崎誠也

最近日本のGDPを中国が追い越したことが報道された。GDPは、その国の産出した付加価値の集積であることは皆さま御承知の通りである。異グ連活動も新商品・新サービスを色々な業種の人が集まって考え出す場ではあるが、もっと広く考えてこの付加価値になるものが、どこかにないか考える場ぐらいに考えてみてはどうだろうか。当たり前と言われればそれまでのことであるが、8月中旬、東京ビッグサイトで開かれた、居酒屋展、飲食業支援展、フランチャイズ展を見て、あらためて考えてみた。

ビッグサイト西館に三つのテーマで競争するような展示会であったせいで、活況を呈していた。最近のクラウドコンピューティングブームも手伝って、飲食店にパソコンだけを置いてあとは従業員の出社勤怠を含めて全部面倒をみると云うブースもあった。しかし、新しい食べ物とか飲み物の試食・試飲を誘う宣伝マンが多く、ごった返していた。中には、前に見た同じビッグサイトで世界食品機械産業展があったが、その時に食品機械を展示宣伝していた企業が今度はその機械で作った製品を飲食店の代わりに、プロモーションに一生懸命であった。

中には、ブースを綺麗なバーのように仕上げ、そこに高価ワインを6本収納した綺麗なスタンド風のワイン自動販売機があった。この機械の目的は、1本10数万円するワインを10gなり少量を取り出せるようになっており、高価なワインを少量だけ飲める装置と云っていた。なるほど、考えたものである。こう見てくると、サービス事業などは、世の中にいくらかでも事業機会はあり、問題は、それに対して顧客がお金を払ってそれを購入して付加価値として認めてくれるかである。展示会もまずは、自社の製品なり、サービスを知ってもらうために参加しているのであるから、一生懸命である。展示だけで終わらずに成功を祈りたい。

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 荒 直孝 ③田中弘一 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 杉本 明子 (芝 忠)

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。
神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!